

【翻刻】

はしか落し
ばなし

このたびはしかはやるについて
しやうばいのひまな人あつまりて
よせゝときにはこんどの一けんについて

きやくはひとりもこず

くわずにみられずじつに

こまるぜ げいしゃゝそゝさわたし

だつておなじこと

さんぶらやゝおれなんざアくつたり

くわなんたりだ ひやつこゝゝおれ

のほうはくわなんだりくわ

なんだりよ ふなやどゝおれも

おなじことだゝりやうりや

さかなやゆやとうふや

かみゆひなど大ぜいにて

なんでもうらみははしかのかみ

めだ げいしゃゝさやうさ

くいついでやりたいやうだ

ゝそうよぶちころして

やろうじやねへかとみな

でかけるといしやさまが

かけきたり ゝまア／＼

まちねへ みな／＼なせ

あんまりそれじやアたん

いきうた みな／＼

いじやゝはてさともかくも

はしかの事に

しねへ

ゝなぜ／＼

【校定】

麻疹落しばなし

この度、麻疹流行るについて、商売の暇な人集まりて、寄席「時に今度の一件について、客は一人も来ず。食わずにあられず、実際に困るぜ。」

芸者「そうさ。私だつておなじことさ。」

天ぷら屋「おれなんざア、食つたり、食わなんたりだ。」
冷つこい「おれの方は食わなんだり、食わなんだりよ。」

船宿「おれも同じ事だ。」

料理屋、魚屋、湯屋、豆腐屋、髪結ひなど大勢にて、「なんでも恨みは麻疹の神めだ。」

芸者「さやうさ。食いついてやりたいやうだ。」

「そうよ。ぶち殺してやろうじやねへか。」とみなく出かけるト、医者様がかけ来たり、「まア〜、待ちねへ。」

みなく「なぜ。」

「あんまりそれじやア短兵急た。」

みなく「なぜ。」

医者「はてさ、ともかくも、はしかの事にしねへ。」